

バストス週報

第百八十七号
昭和廿八年
十一月一日
発行

登録名義人
KOITIMORI
発行所
RUA PRES.
VARGAS 188
BASTOS
編輯人
織田泰吾
C. P. 112
代誌
60-4-1
70-
外部

御返全廢申合せ

冠誓葬祭その他の場合

おかせしを止めらることにしまして
去る二月九日、中央会で本年度第二回の役員会が開催されたが同席で「おかせし全廢」の申合せをした。
そしてその申合せを各組長が受持の組員に通告する事になつて居たが、まだ充分徹底して居ないようにも思はれるので次に再録することとした。

○佛事・葬儀の場合

1. 葬式当日送葬後一般會葬者に酒肴茶菓等を饗應せぬこと
2. 會葬御礼として會葬者の家庭廻りをしないこと

3. 香奠返しを一切せぬこと

○祝ひ事・出産・修礼祝の場合
1. 出産祝に對し命名内祝と称し申返しとする習慣をやめること
2. カザノントの時は引出物(引き物)をせぬこと

○病氣見舞の場合

1. 全快祝として病中の御見舞に對する返礼をすることをやめる。
右区員の皆様各自御履行下さる様御願致します。
右 バストス中央區會

世貞ひ 放しで

よいと思ひます

旧来の陋習を破り、といふ言葉がある。良好なる習慣は破棄した方がよい。前記のような中央區會の申合せは、事新らしい問題でなく従来親戚となく唱導され実行され、そして又いつともなく元の通りになり否か、
向さへあつたようである。
脇山氏が組合長でバストス産組に号令をかけて居られた頃、組合で冠誓に因する規定を設け、奢侈を戒めたことがある。家で煮炊きをせぬこと、酒はビンがにすること、客は正副区長、青年團男女団長といふたように人数制限してあつて、ザシ厳格な申合せが及んで、結婚式の如きもなくすたれで、結納式もなし、は一生一代の慶事でもあり、派手過ぎない、酒を強いる事がエチケツトと思ふ。



マルヤマは

洋服店で
御座います

心得、やたらにビールを酌かまわらうで、遂にバッグで捨てる程コップにのこしてしまふ。タンパをとったセルベイ、ビンが林立する結果となる。これなどは明かに無粋な話で死に金を使ふことに等しい。祝ひ事の方、懐しく使ふことだから、まあよいとして、葬式の時帰途一は、出ず習慣は古来の日本式しきたりだけに中々やめにくい。が、シケで自宅で行ふ場合は別として、中央区内での習慣は正に負担であつて、皆やめたい。と思ひ、ケチだと言はれ度くない。ばかりに仕方なしに、ついでに、未だ感はあるようである。業者には、すまぬと思ふが、かんへんして、傾き度い。
人によつては、永い間病人に費用を便ひ、その上の不幸である。隣がやたらから自分の所でもとらると、之れ又少からぬ費えである。通りの、よはれる方も、そんなにあり、たぐ、且つ甘い酒でもない、親戚や特定の、人だけ、自宅又付特定の席で、酒をすすす。た方が、遠かに有意義である。
香奠返し、病氣見舞の返礼皆なし、心から礼を述べれば、充分であらう。それでも、氣のすまぬ人は、慈善事業其他へ、その志を、ふりむければ、一時の飲食より、遠かに有意義な御礼となるであらう。(M人)

CASA MAEYAMA
Rua Pres. VARGAS
BASTOS

石油 ジャカレール EP
ビール ブラマ印 代理店

前山商店

内外雜貨・食料品
養蚕家必需品・タンボール
これら驚くほど安い・大割引
市中迅速配達いたします

歸國御挨拶

皆様御元氣の事と存じ上げます。私こと此の度十三年振り
渡伯致し、バストスへ参りまして早くも四ヶ月餘り、夢の裡に過
ごしてしまいました。其の間皆様の御款待を受け誠に有り難
く衷心より御礼申上げます。

在伯百二十日を利用して聖州内は勿論、麻州、巴州と随分各
地を駆け廻って見聞を弘め、久し振りの大旅行を致しまして得
る処も甚だ大きかったと喜んで居る次第で御座います。

就ては来る十一月十日聖市より空路出發帰國の途に上り十五日迄
に羽田(東京)着の予定にて、二日午前八時懐しのバストスにお別れを
致します。

在伯の皆様、バストスの皆様、祖國戦後の窮状をよく御察しの上
健康第一、祖國再建の外廓として層一層頑張つて下さい。

御縁もあらば又御目にかゝる事もあらうと愉んで居ります。
では皆様御機嫌よう

昭和二十八年十月十九日

各位

又原竹次郎

人事往末

○朝日新聞中南米特派員田中利一氏は四
月前メキシコを振り出したペルー、チリ、等大洋沿岸
を巡りアルゼンチン、パラグアイを巡てブラジルに入り、つ
きにブラジルの政情、日本人コロニアの觀察に特の脈を
振り、アマゾン、マトスロワソを視察後、エフロドル、コ
ロンビア方面に飛ぶとの事であるが、フラジル奥地旅行
の途次去る十月十五日バストスを訪問された。

○衆議院議員今村忠助氏は自由党海外移住中
央協会理事、日本大学講師といふ学者や員である
が、松原移民受入現地視察、その他必摺要員を以て
渡伯、去る十月十五日バストス未植、廿五日、バネ
ス内諸施設を見学された。尚同氏は十五日夜池田
ホテルにて「民主主義への道」を高遠を答答観
によつて解説し、リス理論への批判をした、聴衆大
十余名。

○モリススル、バネス武部耕地武部繁氏は所説今
村忠助氏と同道未植。

葬送二重奏

去る十月廿五日は葬式が二つあった。バストスには近
頃珍らしいことである。一つは谷口都彦青年の新妻
昭子さん、三月はかり前結婚したばかりの昭子の没
を致した。一つは宮崎高次郎の老父市太郎さん、三
年前に中風にかゝり遂に快方に向かず七十八歳で逝いた。
同氏は外山果中川区某保村の出身、北海道から渡伯された
昭和七年七月北パラナ、カンパラに配耕四男二女の親と
な後若うかに暮らす店と云ふ不慮の病魔に侵され晩年は
不幸といふ外はなかった。

木トトギス入選句

ハ、九月号

(バストス仙掌部)

此雨の中 水賣車 疾りゆく 佐々木耕雨
アマゾンの出水に這はれ来し土人 改東春歩
葉振るはワイワ族が 同能が 浦紀南子
鬼灯や子魚さ此の家に子等集ふ 山本和枝
仮任みの落葉降るま、溜るま、 吹本菊子

シンジヤイとこのところ

予ねて聯合青年団で計画して来た見学旅行を、今度の陸上郡シンジヤイ遠征を利用して実施しました。其の見聞記を左に發表させて頂きます。

一行の中にはシンジヤイの地理に明るい者が居なかつたが幸に北バストス出身の中井氏が同地に居られ案内役を引き受けて下さったので、時間も不利に使ひ又充分に講所を見学させて貰った事を感謝していただきます。

十月十二日快晴、一箇宿舎で身は度をしてのち、早くも中井氏は力ミニオンで迎へに來られた。八時を發町から約二キロ、国道沿いに近郊花井栽培の第一人者近藤先生の花赤園見学に出く、近藤は一見六十歳、見るからに篤農家らしい人柄である。氏は花作りは造詣深く、花作りのコツを親切に説明された。畑に入ると今ホッ／＼開き始めた百合の花の前の霜にお盆にあす見當で植えたのだが今年霜に見舞はれて最初の芽が枯れ、今年霜に二人なれば山枝が着て蕾を付けては居ると言はれた。百合は花一本で十五折の賣あるから、三本が一本が一打で一打としてとる相である。次にクラジオラスの畑へ行くと、その畑が歩く毎に「クラジ」と思ひに思つて尋ねると「此の畑は」と平坦で廣々とした日本の水田を思はせる。よ／＼な整地とされた畑と指し「此の畑は元一面に湖水のようだが、水が溜つて甜も手子あし得なかつたが、私はこれはいそ思つて購入し、近長千六百米の排水溝を掘り、其の底に草の根の堆積して出来た土と、も何ともいふかぬもので、竹とつゝ、むい北のりだ」との事で、栽培の程の力をい入れて、排水溝の間に二米位入つてしまつた。その排水溝を掘り上げた土を持ち帰り、はせスヌ一杯の風が強く、だから新は實はなくてよい相だ、余り沢山の焼捨した竹があつたが、丁度泥炭の焼物の標、あつた。クラジオラスは毎年欧州から三万五千程の種を輸入して居るとのこと、今咲き始めであるのは、お盆を目當に作られたもの、この一タレ、（十、十五、二十）に肥料は鶏糞約百キロと化学肥料を少々入れて、植付け、花の咲く迄は約四十日、毎日の水遣、花の賣上は約一ヶ月でナフラを終る。花はお盆が一番よく賣れる。年は其の三日間に参百六十、十一月、母の日の事、次でナヌール、正月、母の日

死亡通知 並に 會葬御礼

父市太郎儀長らく病臥中の処去る十月二十四日午前五時七十八歳の生涯を畢之、永眠致し、翌二十五日午後三時出棺佛式に因り、バストス墓地へ埋葬仕りました。生前辱知の皆様に謹告申上げました。追而葬送に際しましては、炎暑の折柄遠路御辱ひもなく御會葬下され、且つ過分なる御香奠、花輪を頂戴し誠に有り難く御礼申上げます。

一々参考上御礼申述べ可きで御座います。が、實は運の取極めによつて香奠返し並に會葬御礼参り等を致しましては、御厚誼の飯紙上を以て深謝存じます。

一九五三年十月廿六日

- 長男 宮崎 友義 (モリス)
- 次男 宮崎 友義 (コリン)
- 三男 宮崎 義徳 (クリヤ)
- 四男 宮崎 義将 (バスター)
- 親戚 宮崎 喜一 (ルセリア)
- 左 渡部 喜助
- 右 川家 一族 一同

サンジヤイ及サンペード口であり此の期に出荷しない、駄目。害虫は夜盗虫が大敵で、毎日見廻しねばならぬ。一人の若い人がバドエと、かきまて居るのを行つて見ると、五月用に植えたところ、今夜盗虫を捉り、若くは、おつた。一株か、丁等に芽の所まで掘り出し、その土の中に居る虫を殺して居るのである。こうした所は、花の裏上の所を食ふので、日中になると、葉の裏は倒れてしまふ。注意と根氣が如何に必要なることか。

斯うして毎年新しく種を輸入しては、種が非常にかかるので、何とかがして、研究種は出来なからぬのか、今年からその研究を始めて居ると、次の畑に案内された。そのは、指の頭位の小芽を植えて、肥培してある。クラジオラスは、二人な小さな芽は、沈山、出来るが、未だ誰も、二人な花を咲かせたもの、居ない。又一年では、花は咲かない。その一年、苗床で肥培すると、翌年は一人前の大きさになる。そうして、種芽の自然が出来るように、なれば、花作りは、非常に楽になる。然し、大へ人、荷り、なかつた。私の、今、近、味、を、持ち、苦し、て、居る。は、此の、仕事、で、す、これに、成功、すれば、は、り

死んでもよい」と言はれた。次に種芋の保存法を倉庫に帰って沢山の種芋の山の中を歩き、終つて記念撮影をなし、新鮮な芋の饗應に舌鼓を打ち、母や花の苗をバストスに持ち帰れるように包装して頂き、十時過ぎに辞去した。

今度は國道の反対側にある柳沢守人氏の母畑にゆく、國道はカミニオンに乗りこき禁止されて居るので歩かねばならぬ。綺麗に舗装されたアスファルトの上をフルスピードで走る自動車に注意しながら日本の景色を彷彿させる四方の山々を眺めながら暫く歩くと柳沢氏の畑の入口に着く。ユカリ林の中を行くと数百米で畑につく、氏の畑は、4アルケル、実によく手入れされて居るのに一瞥を喫した。娘さんが三人一べと母の手入れをしていた。今母は第一回の収穫を終り二番花が咲き始めたばかりで母果は殆んど見えない。此處は不思議に今年の霜害を受けなかったため、其の小面積から第一回の収穫だけで二百数十コトスと上れた相である。相憎や主人が不在だったので中井氏のお話を聞いた。けで退去することにした。(次号へつづく)

迷ハズピン

- | | |
|-----------------|---------------|
| 受取人 | 差出人 |
| 光永才助 殿 | 熊本県宮内村 渡辺 誠 |
| 真野四郎 殿 | アマミチナ T. MANO |
| アルト清家あきら 殿 | クラシアンホリス 郡役所 |
| 松田武雄 殿 | |
| アルト才助武美 殿 | |
| オーストベンス 平田高四郎 殿 | |
| カヌ湯泉有米吉 殿 | ハララン 市役所 |
| KUNIO KANZU | |
| 長谷川正雄 殿 | |
| KYONU YAMAGUSHI | |
| 三三ベラガ | パウリセイア 市役所 |
| 松本 昇 殿 | |
| エスハ | |
| 松本 茂吉 殿 | 植木商店に保管 |

生長の家信徒行持要目
を讀みて
新津牛丸

天地にあらん限りのものみなに
感謝々々の日暮しをせん
そのまゝ、此心大事にすべしとの
よき教あり生長の家

何事も真心をこめたすべし
直ちに化する天國 澤土
真心の願はれにより一切の
人に物事に行き届くなり

風水害義捐金募集 演・藝・會 成績發表

去る九月十九日二十日の両夜に直リバストス劇園が中心となり、舞踊音楽の加入による大演藝を用いたが両日の上り高(木戸茂及寄附金)八、一、一、〇、〇、〇。

諸雜費支拂
二、五、四、二、〇、〇。
差引 五、五、六、七、〇、〇。とされたので聖方徳願寺館を通じて母國へ送金とすることになった。因にバストス演藝部の助成奉行と承ったのは、甚多商店主と林多徳之助さんである。尚当日の舞踊は日本古典紀伊の國や梅にも春を舞うてやんやの喝采と博した戸田つゞ子さんは自分も買った洋花を母さんと其のまゝ、助道元へ寄附と係りさせた。中味は大枚一二。計也尚庶民も一三の前後日寄附があった由。

おあ百までわーや九十九まで

永生きに わかぜと



製造元 東京 わかぜと製菓株式会社
伯國認代理店 昭市 パウリスタ製菓会社
社長 中久保登太郎
C.P 3656 TEL 32, 4445

お年寄りに「わかもと」は
永生きの道であります

バストス代理店
西 川 薬 局
佐々木 薬 局
板垣 薬 局

バストス開植當時の思ふ

学校の諸問題あれこれ

16 畑 中 仙 次 郎

中学校開設は當時時機尚早論もあつたが之を排して強引に押し切つて完成したが若しあの当時好機を逸して居つたならば恐らく今日と異へども中學校の私設は覚束いであらう。又其の同子弟の中等教育は一大支障を来したであらう。農村に埋れて前途有為な材を捨て下ク青春を爲に失つた人も多かつた事と云ふ。然るに以上の如く多数の方々の盡力によつて折角開校して將來に多大の望みをかけたのも東の間、當時のインスピートル、カルボン氏(マリリア在任)の逆鱗に觸れたか、すつたもんだの挙句、遂に閉校の憂き目に遇つた。生徒達も一年勉強しながら進級も出来ず誠に氣の毒であつた。ブラ格からは初年度は経営も困難であらうと百コト進い經營の支出も預つて居つた関係もあり、斯る結果になつたので其の責任の重大性を痛感しつつも當時としては如何ともする事が出来ず、為難を排して漸く吾等の手で完成した中學校が奥地農村の教育に多大の貢献をなすものと自負して居つたから、何等理由もないのに中學校閉鎖とは合点が参らぬ。誠に以て残念ではあるが、涙を吞んで時機の到来を待つより他に道は無かつたが、大体私の不明の致す処であり、誠に申訳ない次第である。其の頃は快々として苦煩の日を送つたものであるが、越えて一九四一年リオのフランシスコノ流本郭からパードレが見えて中學校の經營を一任せぬかとの交渉を受けたが、サン、困り抜いた揚句、中學校の經營の如き民間私立では容易ならぬものである事を痛烈に体験して居た際でもあり唯校舎のみ借用すれば足り、其の他の一切の事は何等の負担もかけぬといふ預りでもない。誠に都合のよい申出であつたので、協賛者組合長とも相談の上、愈々萬事一任する事になつたが、翌一九四三年には既に閉校の手続きも出来、日本語の解るパードレ近派遣せられて茲に目を度く再び同校の運びとなつて以来、今年恰と十周年記念を迎へたのであるが、素朴、其の初期に於ては多額に上る經營上の不足騰ではあるが、之れは他方面から補呈し、其の他色々困難はあつたようであるが、其の間、當事者の經營よろしきを得て、遂

年改善せられ、現今では他地方からも入学者を見らるゝ盛況で、此の範圍の狭い処にも拘はつた三百四十人の生徒を有し、益々充實の期に達しつつあり、波乱万丈の経緯を辿つたとはいへ、落ちつく処に落ちついた今日誠に感慨無量なるものあり、唯々感謝の外はない。今後共、当地方民は出来る限りの協力を惜しまず、醒市の中學校に比肩し得るだけの立派な生徒を輩出する迄と押し進めよう。念願してやまない。

定も角もバストス住氏が、膝下に於て我が子弟の中等教育を施す事が出来るので如何に其の恩恵に浴してゐるか、又当地方一般の向上に對しても、如何に多大の貢献をして居るか、周知の事實で、去て、は中等以上の學校に学ぶ者が多数に及んで居る。此の中等教育の殿堂建設を創業時代に計劃し、その実現に努カして遂に今日あつた、生みの母たる木下先生功績は、我がバストスのありん限り燎然とまき輝くであらう。

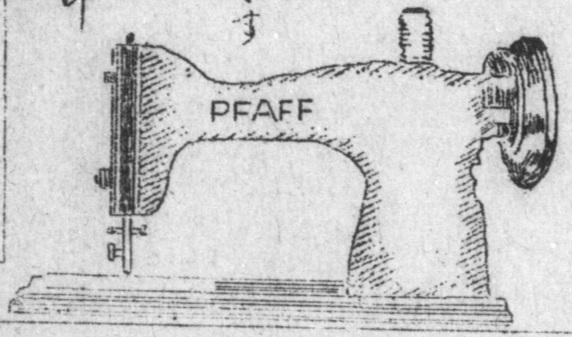
四代目校長山岸又次郎先生も聖州義塾の出身で中學校教員の資格があるから、葡語教授も出来、直情路達、見事の指導

すはらしい
名聲 赫赫たる
プアーファ ミしん

輸入統制により入荷が途絶えたので、
ごもストッキがなくなりまして、
しかし、もうしばらくの
御辛棒で御座います

十二月には
入荷致します故
一日も早く御申込下さい
先着順に御渡申します

前田 吳服店
みしん部



ラジオ・テレフォン

獨乙製最優良品・ラジオ・テレフォン
入荷いたしました。

雑音の少しもない美しい音

シッチでは、アラムラドルでよく聴けます

御申込次第 取附御電話いたします

者として適任者で、当時既に日本語学校に微妙な立場に置かれて居ったから、スラ場に於ても教育係として特に招聘して萬全を期し、善処して貰って居った際として、長く留って貰ひたかったが日本の紡績業が進んで来るのでミナス州ベロオリゾンテ市の或る紡績会社へ日本の専回家と共に通訳と研究を兼ねて行かれる事となり、止むなく辞任せられた。

上述の木下夫妻も山岸先生と共に伯國事情には明るく、葡語も堪能な人達であつたので、当時、移住地はキストの標本のように騒がれる最中、日本語教育より葡語教育に移行せんとするその過渡期に於て、クルッポの先生や外界の接觸等に対して、可成摩察のないようになり、うまくコントロールして来て問題を起さず、經營して来た苦心は忘れてはならない。

山岸先生の後には九鬼先生が継がれたのである。総領事館に於ても子弟教育問題に就ては、特に意を用ひられ、文教普及會より、在伯同胞子弟教育の爲めに優秀なる師範の先生を撰抜して當伯國に招致された五人の内の一人である。

その次に田中又史先生を迎へた。同氏は児童教育には豊富の体験者で大きな抱負を以て隨分努力せられたが、一九三八年末、急遽教育令の実施と共に、日本語小学校の閉鎖となり、六代目校長田中先生を以て終止符を告げ、伯國のみの教育時代に移つてしまつたのである。現クルッポ、エスコラルが公認になつたのは一九三三年で、初代校長として當時バストスが屬して居つたムニシピオ・カッポス・ノ・ホスのクルッポからエウリシオ・モウラ先生が兼任せられた。当初の事とてどんな方が見えるであらうかと大に才眼心を寄せて来たが、温厚篤実で老巧、初代校長として誠に申分ない適任者であつたので、父兄の信任も非常に厚かつた。(以下次号)

アモネラ
見本 ころん下さい
アネフル ハロス街
アルマゼン・セリアリスト
佐藤商會

建築材料
エーカリプト

上等の木炭も製造して居ります
多少に拘はらず御注文下さい
モンテアレグレ
佐藤利右エ門

座談會 3
バストスを再検討する

産青縣がきらわれた話

「經濟力なきとは、なり立たないといふまでもなく判りました。バストスの青年團は古いところでは時川君、長橋君等の活動があり、縣青年にあってから、上西、重道氏の代から、今、西、崎田君の段階に到達して来てゐる。今日四組合の調をみる以前に、若い人たちの力で、あの危期を切りぬけられなかつたものか。時川君当時の模範を一つ、時川君には僕だけの主観だが、僕はあの當時余り苦心してジューリーの主張所(當時は取引団係りみで後にネボジットとなつた)を作つたりした、めに後に起きた一元化運動については、一元化が何だといつたような割切れない氣持でした。口では感嘆に唱えられたが口だけで實際の動きはなかつたようです。實際問題となると中々大に敷く化が、經濟的なものか精神的なものか、實際的な具體案がなかつたと思ひます。自分自身を守ることに汲々として自分の所屬する組合を守るべが足らぬようです。僕らが結成して居た産青縣は、産青縣組合の提灯持ちをさせられることだつた。組合の仕事をアジューダをさせられることだつたんです。産青縣運動は當時全伯的なもので、然るに事館が大へん力を入れて居つたが、戦争の爲めに中絶しました。」

Jose' Ignacio Pinto
Fabrica de Jaca
Rua Campos Salles 118 Bastos
(em baixo de Cadeia)

保險付苗木

- Cafe カフェー
 - Eucalipto ユーカリフト
 - Laranja ラランジア
 - Limão リモン
- 種類は山あり
仕立ててあります
- 数量多数まとまれば割引
ジャカ附又は苗木のみお好み
苗圃はスロリアE土田與三吉
氏ロツテにあります

直接御出でになりませぬ、工記製造所へ御
申込下さいませ、けつこうで御座います
多少に不拘 御用命下さい
ジヨビ イナシ町 ヒント

産業組合のやる事が無方針といふか、つまりな
った。養蚕業系で有頂天になり、聖市から野菜
を入れるようなことなどをやった。実際老いもんだ。
「養鶏」を取入れることを提唱したのは産青聯
だったんです。産組の理事會に申されたけれど幹
部は互もかまなかったんです。倒れかけた組合に
つかい棒をあてて支へる事だけが、せいはい
で、新しい産業に目を注がなかったのです。海
部さんは養鶏部門を設置するののつとを理事
理事會に提出してくれたが、例の不詳事件
が起き内部的崩壊にあって何もかも駄目に
なりました。

組合で養鶏を考へてくれぬなら、産青聯でその
部門を作らうと奮闘しましたが、妙子「反産
的思想の持ち主」として、さっはれ産青聯は但
令幹部諸公からたくまれるに到つたのです。
しかし実際には養鶏家は増加してゆくと、組合で
全面的に之を見ないとすれば、トリカヒは当然
飼料を得る為めに自己資金のお資といふこと
なるでせう。僕等は中央会へも行ったレコケマの
下えさんとも會つて苦境を訴へたんです。だが、い
ら苦境を説明しても、組合を動かすものは理事
ですから、理事の承認なしには融資も取りも
中央会は、アセイヤしくれません。

帰つて来て理事の協力を求めアセイヤを求めても
お来ないといつて、はねつける。中央会では、それが
なければ引受けてくれぬ、とつ／＼つき当る所
まで行きついでしまったのです。何故理事が署名
名一これなかつたか考へると残念でなりません
萬葉つきてジケリー組合へリガソンをつけたので
す。そういふいきさつがあるのですから、簡単に
一元化といわれても、オイヤレとはいきません。飼
料の共同購入、鶏卵の共同販売、それら大切です
がそれは未桶の問題です。

ドクトルと植民地の話

桑原「一寸發言させてもらいます。さき程の
お話、畑中さんの話、田中さんの話何れも感じ
入りました。私は今度ドクトルへ移民を送り
込むにつれて和歌山県の方からも入れて居ります
ので先づ現地について参つたんですが、之れを完
成する方策について、バスター移民地
に於けるスラ格の経営方針と申します。温
室移民などとははれる程、手を加へずかた為
め、かへつて自力の面ですべったといふお話。そ
れは正にその通りです。スラ格が余り干渉し
てくれたのがかへつて伸びなかったのではないか
と考へるのですが、いかがなものですか。

ドクトルでは余り干渉せぬ方がよいのではない
かと思ひます。

水野さんのお話しの経済一元化は勿論大賛成
ですが、その副産物として文化の向上とか
精神的融和といふことも産業組合運動の
要素として、考へてよいことと思ひます。本質
的には経済が根本ですから、そこから伸びて行
かぬはなりません。

先程から一元化のお話しであります。もしそ
ういふ激進があるとするれば一年でも早い
方がよいと思ひます。後れるとそれ又やりたく
くなると思ひます。内容も調へないで、そういふ
事を云ふのは誠に失礼ですが、一時も早いのが
よいです。何か動機はないものですか。

(つづく)

速記が充分でないものですから、かんじんの処
を脱落して居るかも知れません。話された方で、ま
がいき發言をされた時は、御申あげてお祈り致し
ま

十死亡通知

會葬御礼

新妻昭子と不幸にして病魔の襲ふ処と
なり、去る十月廿四日午前九時急逝致しま
したので、初五廿五日午後三時カトリック式に則
り、バスター墓地に埋葬はりました。生前
御親交を頂きました各位へ御報せ申し上げ
ます。

追而葬送の御節は、御多用中遠路御参り
もなく御會葬下され、その上多大の御香
華を賜はり御芳志の段、厚く御礼申し
上げます。

中央區の申合せによりまして會葬御礼其
の他取止める事に致しましたので勝手ながら御
覽を頼ひ紙上を以て御挨拶申上げます。

一九五三年十月廿六日

- | | |
|------|---------|
| 喪主 | 冷田部 淳 |
| 母 | 大和田 ちよ |
| 妹 | 小笠原 菊子 |
| 妹婿 | 小笠原 菊太郎 |
| 弟 | 包住 明恵 |
| 岳父 | 小池 源 |
| 親戚代表 | 中野 長 |
| 各 位 | 廣瀬 政雄 |